

第15回

満月の夜開く けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」

昔から祭りは満月の夜に開かれてきました。“けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」”は、そんな満月の夜に「文明の未来と人類の幸福」について考える会です。高等研の庭にはゲーテの胸像があります。その視線は「フクシマ」のほうを見やりつつ、近代文明の現状を憂いているかのようではありませんか。

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。ゲーテの胸像はその理念のシンボルです。今宵、ゲーテに立ち返りながら、近代科学文明のあり方を一緒に再考してみませんか。

(2013年8月21日開催の発足会案内より抜粋)

日時： 2014年 **10**月**8**日(水) 18:00~20:30

場所： **公益財団法人国際高等研究所**

講演： 未来社会はいかにあるべきかー人類の未来と幸福を考えるー (Part VI)

伝統思想に基づいた新しい哲学を

講師： **末木 文美士** 先生

【講演要旨】

ハイデガー、ウィトゲンシュタイン、デリダなど、現代の哲学は過去の哲学を否定し、解体した。しかし、それに対して、どのような新しい思想を形成できたであろうか。今日、大学の哲学科はきわめて不評であるが、それももっともなところがある。しかし、さまざまな災害が続き、政治や経済の面でも混迷が続く現代こそ、本当の意味で時代を照らす哲学が必要ではないのか。そして、もはや西洋直輸入の流行を追うのではすまなくなった今こそ、伝統思想を振り返り、そこから何を生み出すことができるかを、しっかり考えていかなければならない。このような観点から、中世日本思想の「顕」と「冥」の概念に基づいて、私が提唱する新しい哲学について紹介し、その有効性を検討してみたい。

【講師略歴】

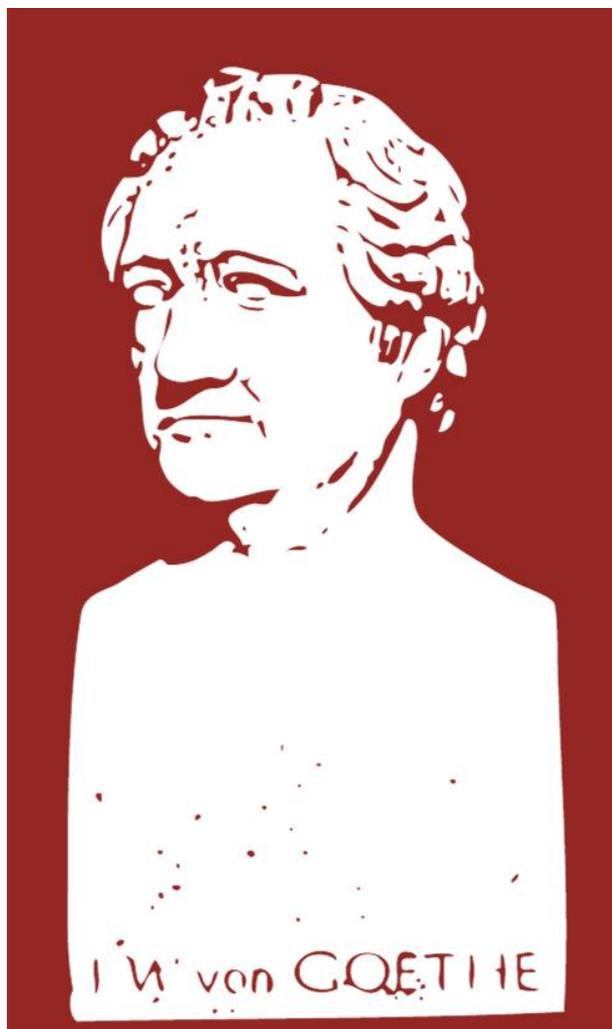
1949年甲府市生まれ。国際日本文化研究センター教授。東京大学名誉教授。専門は、仏教学、日本思想史。著書に、『日本仏教史』（新潮文庫）、『日本宗教史』（岩波新書）、『日本仏教入門』（角川叢書）、『哲学の現場』（トランスビュー）などがある。

参加費： **2,000** 円 (交流・懇談会費用を含む)

定員： **40** 名 (先着順)

申込： 「参加申込書」(裏面)によりお願いいたします

URL： <http://www.iias.or.jp/public/goethe.html>



参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地

公益財団法人国際高等研究所 事業部

けいはんな「ゲーテの会」事務局 (担当：竹島)

E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

第15回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2014年10月8日(水)開催		
お名前		
ご所属		
部署		
役職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX :
	E-mail	

■ 会場案内

